

# **CK-W70D (08600-K9034)**

---

ワイドシンプルCD チューナー

## **取扱説明書**

お買い上げいただきましてありがとうございます。  
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。  
また、この取扱説明書は大切に保管してください。  
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。



**ダイハツ工業株式会社**






# 安全上のご注意（必ずお守りください）

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

 <b>警告</b>	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

	注意(しなければならない)の内容です。
	禁止(してはいけない)の内容です。
	実行(かならず行っていただく)の内容です。

## 使用方法について

### 警告



#### **分解・修理および改造はしない**

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。



#### **音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない**

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

#### **機器内部に、水や異物を入れない**

金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。

#### **故障や異常な状態のままで使用しない**

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。

#### **運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない**

必ず安全な場所に車を停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。



#### **雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない**

落雷による感電の原因となります。



#### **ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する**

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口にご相談してください。

### 注意



#### **本機を車載用以外で使用しない**

発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。

#### **使用中または使用直後は放熱器にふれない**

本機の使用または使用直後は、本体の背面や側面などの金属部分が熱くなっています。本機を取り外すときは、直接触れることはお止めください。やけどをする場合があります。



#### **可動部やディスク挿入口に手や指を入れない**

モニター開閉や角度調整の時にはご注意ください。けがの原因となることがあります。

## 異常時の問い合わせ

### 警告



**異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口にご相談する**  
そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

# 使用上のご注意

本機を使用していただくうえで、知っておいていただきたいことです。

## 温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。本機内部が60℃を超える高温になると、保護回路が動作して再生ができなくなります。このようなときは、車内の温度を下げると、保護回路が解除され、再生できるようになります。温度が下がっても正常に動作しないときは本機のリセットボタン(→ P.5)を押してください。

## 結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露(水滴)が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、お買上げの販売店にご相談ください。

## オートアンテナ付き車に取り付けた場合は

ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、本機の電源をオンすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、音源を“STANDBY”に切り替えてください。

## レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

## お手入れについて

本機の操作パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与える場合があります。また、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のものでも拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

## ディスクの使用上のご注意

- ディスクが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。レコード用クリーナー、静電防止剤やシンナー、ベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。
- 本機からディスクを取り出すときは、ディスクを下側に強く押さず、水平方向に引き出してください。ディスクを下側に押すと、記録面に傷を付ける原因となります。
- 新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールおよび外周部に“バリ”がないことを確認してください。“バリ”がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかつたり音飛びの原因になります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。
- 音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ(スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど)は使用しないでください。故障の原因となります。
- 8cmCD、アダプターは使用できません。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。


## 使用できないディスク

以下のディスクは使用しないでください。

- 特殊な形状のディスク。円形以外のディスクは、故障の原因になります。



- 記録面(レーベル面の裏)に着色や汚れがあるディスク。引き込まれない、取り出せないなどの誤動作の原因になります。記録面には触れないようにお取り扱いください。

-  マークのないディスク。

正しく再生されない可能性があります。

- ファイナライズ処理していないCD-R、CD-RW。お使いのCD-R/CD-RWライティングソフト、CD-R/CD-RWレコーダーの取扱説明書を参照して、記録を行った機器以外のプレーヤーでも再生できるようにするための処理(ファイナライズ処理)を行ってください。ただし、CD-R/CD-RWはファイナライズ処理をしても、記録状態によって再生できない場合があります。
- 汚れ、傷、ゴミのついたディスク、反りのあるディスク。音飛びなどの誤動作や音質劣化の原因になることがあります。
- 表面に紙テープなどが貼られたディスク、ラベルのノリがはみ出したディスク。ディスクが取り出せなくなったり、本機が故障することがあります。

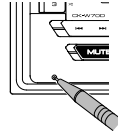
## 表示できる文字について

英大文字、数字といくつかの記号が表示できます。

表示できない文字は、"\_"表示となります。

## 異常にお気づきのときは(リセット方法)

本機の異常にお気づきのときは、「故障かな?と思ったら」(→ P.21)を参照して解決方法をお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。リセットボタンを押しても正常に戻らないときは、本機の電源を切り、お買上げの販売店へご相談ください。



## その他


- 偏光サングラスを使用すると、視認性が低下する場合があります。

# もくじ

---

安全上のご注意（必ずお守りください）.....	2
使用上のご注意.....	4
各部の名称とはたらき.....	8
基本操作.....	10
曜日と時刻を合わせる.....	10
ラジオを聞く.....	11
CD を聞く.....	13
外部接続機器を聞く.....	15
音質を設定する.....	16
設定を変更する.....	18
ディスプレイの表示を変更する.....	19
その他の情報.....	20
故障かな?と思ったら.....	21
仕様.....	22
保証とアフターサービス.....	23

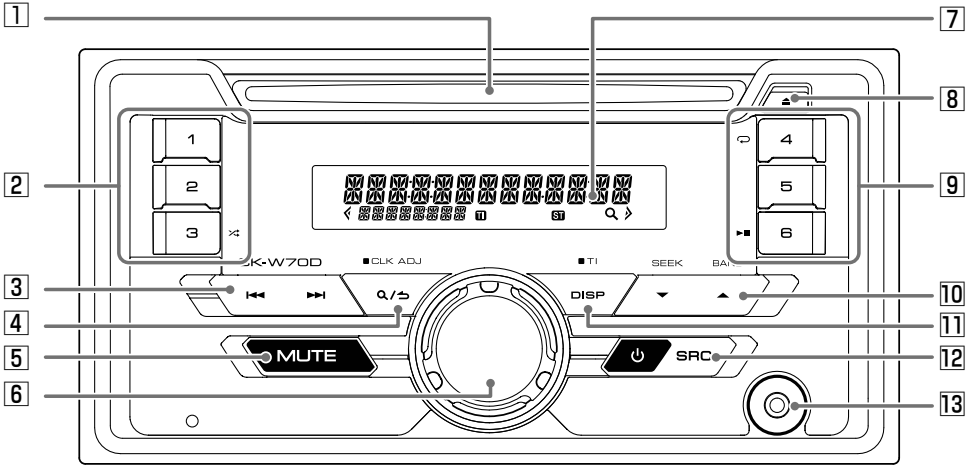
### この取扱説明書の見かた

- 操作は本体の操作パネル上のボタンを使って説明しています。
- 操作パネルのボタンは、[  SRC ] のようにボタン名に [ ] を付けて表示しています。
- (→ P.XX) は、本文中の参照ページを示しています。

### 免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

# 各部の名称とはたらき



## ① ディスク挿入口

ディスクを挿入する場所です。

## ② [1/2/3] (数字/ランダム再生) ボタン

- [1/2/3]: FM/AM 放送受信中に、その番号に登録してある放送局を呼び出します。押し続けると現在受信中の放送局をその番号に登録することができます。
- [↔]: CD 再生時に、ランダム再生方法を選択します。

## ③ [◀◀]/[▶▶] (サーチ/スキップ) ボタン

- FM/AM: 放送局を切り替えます。
- CD: 前/次の曲(ファイル)を再生します。押し続けると、早送り/早戻しします。

## ④ [Q/↵] (検索/戻る) / [CLK ADJ] (時計調節) ボタン

- [Q]: CD 再生時に曲やフォルダ、ファイルを検索するモードに入ります。
- [↵]: 機能設定時にひとつ前の設定項目に戻ります。
- [CLK ADJ]: 曜日と時刻を設定します (→ P.10)。

## ⑤ [MUTE] (ミュート) ボタン

消音します。もう一度押すと元の音量に戻ります。

## ⑥ ボリュームノブ

- ボリュームを調節します。(「0」～「35」)
- 押すと、“FUNCTION” (機能設定) モードに入ります。  
“FUNCTION” モード時に、回して機能や項目を選択、押して決定します。
- 曲、フォルダ、ファイルの検索モード時は、押すと曲、フォルダ、ファイルを選択します。

## ⑦ ディスプレイ

## ⑧ [▲] (ディスク取り出し) ボタン

ディスクを取り出します。



⑨ [4(↺)/5/6(▶||)] (数字／リピート再生／再生・一時停止) ボタン

- [4/5/6] : FM/AM 放送受信中に、その番号に登録してある放送局を呼び出します。押し続けると現在受信中の放送局をその番号に登録することができます。
- [↺] : CD 再生時に、リピート再生方法を選択します。
- [▶||] : CD 再生時に、曲を一時停止します。もう一度押すと再生を開始します。

⑩ [SEEK] (シーク) / [BAND] (バンド) / [▼]/[▲] (下/上)

- [SEEK] : 放送局の選び方を設定します。
- [BAND] : FM 放送 (FM1/FM2) と AM 放送 (AM1/AM2) を切り替えます。
- [▼]/[▲] : オーディオファイルディスク再生中に、フォルダを選びます。

⑪ [DISP] (表示切り替え) / [TI] (交通情報) ボタン

- [DISP] : ディスプレイに表示される情報を切り替えます。
- [TI] : 押し続けると、交通情報を受信します。もう一度押し続けると元の音源に戻ります。

⑫ [⏻] (電源) / [SRC] (ソース切り替え) ボタン

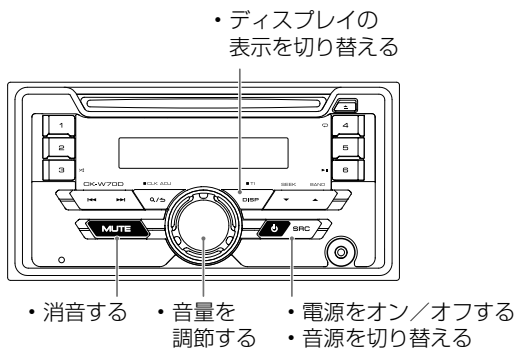
- [⏻] : 電源がオンになります。押し続けると電源がオフになります。
- [SRC] : 電源オン時に、ソース (音源) を切り替えます。

⑬ 外部機器 (AUX) 接続端子

ポータブルオーディオプレーヤーなどを接続します (ステレオミニプラグ φ 3.5mm)。

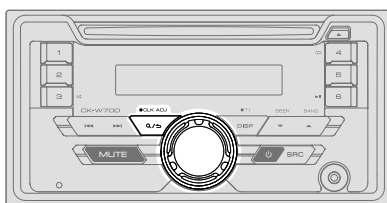
# 基本操作

## 操作パネル



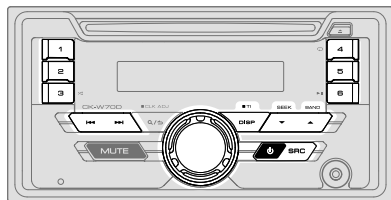
動作	操作パネル
電源をオン/オフする	[ <b>⏻ SRC</b> ] を押すと電源がオンになります。 ・押し続けると電源がオフになります。
音量を調節する	ボリュームノブを回す。
音源を切り替える	[ <b>⏻ SRC</b> ] を押す。 ・ [ <b>⏻ SRC</b> ] を押すたびに音源が切り替わります。
消音する	[ <b>MUTE</b> ] を押す。 ・もう一度押すと、元の音量に戻ります。
ディスプレイの表示を切り替える	[ <b>DISP</b> ] を押す。 ・ [ <b>DISP</b> ] を押すたびに表示が切り替わります。(→ P.19)

## 曜日と時刻を合わせる



- 1 [ **Q/⤵** ] (CLK ADJ) を押し続ける
  - 2 ボリュームノブを使い(回して選択、押して確定) 「日(曜日)」→「時」→「分」の順番で時間を合わせる
- ・曜日と時刻は“FUNCTION”モードの“CLOCK”の“CLOCK ADJUST”からも設定できます。

# ラジオを聞く



## 放送局を探す

- 1 [⏻] **SRC** を繰り返し押しして **TUNER** を選ぶ
- 2 [▲] (BAND) を繰り返し押しして、FM1、FM2、AM1、またはAM2を選ぶ
- 3 [◀◀]/[▶▶] を押しして、放送局を探す

### ● [◀◀]/[▶▶] の選局方法を変える

- 1 [▼] (SEEK) を押す

押すたびに以下のモードに切り替わり、[◀◀]/[▶▶] を押したときの選局方法が変わります。  
お買い上げ時は“**AUTO1**”に設定されています。

**AUTO1**：放送局を自動的に受信します。

**AUTO2**：登録されている放送局を順番に受信します。

**MANUAL**：1ステップずつ周波数が変わります。

- ・この設定は“**FUNCTION**”モードの“**TUNER SETTING**”の“**SEEK MODE**”からも設定できます。

- 1 ボリュームノブを押しして“**FUNCTION**”モードに入る
- 2 ボリュームノブを回して“**TUNER SETTING**”を選び、ボリュームノブを押す
- 3 ボリュームノブを回して“**SEEK MODE**”を選び、ボリュームノブを押す
- 4 ボリュームノブを回して好みの設定を選び、ボリュームノブを押す

## 放送局をプリセットする

### ● 手動でプリセットする

- 1 プリセットしたい放送局を受信する
- 2 プリセットしたい数字ボタン[1]～[6]を押し続ける  
“**STORED**”と表示され放送局が登録されます。

### ● 自動で登録する

“**PRESET TYPE**”の設定が“**NORMAL**”に設定されているときのみ、この機能を使用できます。(→ P.18)

- 1 ボリュームノブを押しして“**FUNCTION**”モードに入る
- 2 ボリュームノブを回して“**TUNER SETTING**”を選び、ボリュームノブを押す
- 3 ボリュームノブを回して“**AUTO MEMORY**”を選び、ボリュームノブを押す
- 4 ボリュームノブを回して“**YES**”を選び、ボリュームノブを押す

## FM ステレオ放送をモノラルで受信する

受信状態が悪いときなど、FM ステレオ放送をモノラルで受信して雑音を軽減することができます。

- 1 ボリュームノブを押して“FUNCTION”モードに入る
- 2 ボリュームノブを回して“TUNER SETTING”を選び、ボリュームノブを押す
- 3 ボリュームノブを回して“MONO SET”を選び、ボリュームノブを押す
- 4 ボリュームノブを回して“ON”を選び、ボリュームノブを押す

## 交通情報を聞く

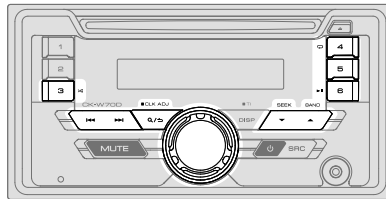
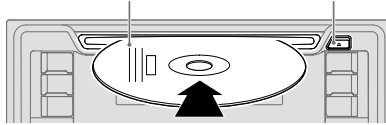
- 1 [DISP] (TI) を押し続ける  
交通情報が受信されます。  
もう一度 [DISP] (TI) を押し続けると、交通情報受信前の状態に戻ります。  
交通情報受信中は“TI”表示が点灯します。
- 交通情報の受信周波数を切り替える
- 1 交通情報を受信中に[◀◀]/[▶▶]を押す  
受信周波数が 1620 kHz または 1629 kHz に切り替わります。
- 交通情報を受信中に音量を調節すると、その音量が自動的に記憶され、次に交通情報を受信したときも同じ音量で聞くことができます。

# CD を聞く

## 再生する

ディスクを挿入すると音源が CD に切り替わり再生が始まります。

レーベル面を上にする [▲] (ディスク取出し) ボタン



動作	操作パネル
再生 / 一時停止をする	[6] (▶  ) を押す
早戻し / 早送りをする	[◀◀]/[▶▶] を押し続ける
曲またはファイルを選ぶ	[◀◀]/[▶▶] を押す
フォルダを選ぶ*	[▲]/[▼] を押す
リピート再生をする	[4] (↺) を繰り返し押す 音楽 CD 時 : TRACK REPEAT/REPEAT OFF オーディオファイルディスク再生時 : FILE REPEAT/FOLDER REPEAT/ REPEAT OFF
ランダム再生をする	[3] (↻) を繰り返し押す 音楽 CD 時 : DISC RANDOM/RANDOM OFF オーディオファイルディスク再生時 : FOLDER RANDOM/ RANDOM OFF  オーディオファイルディスク再生時のみ : [3] (↻) を押し続ける ALL RANDOM/RANDOM OFF

\* オーディオファイルディスク再生時のみ使用できます。

## 曲 / フォルダ / ファイルを選ぶ

### 音楽 CD 再生時

- 1 [Q/⏪]を押す
- 2 ボリュームノブを回して曲を選ぶ
  - ・ ボリュームノブを速く回すと、検索スピードが上がります。
  - ・ [5] を押すとトラック 1 に戻ります。
- 3 ボリュームノブを押す  
曲の再生がはじまります。

### オーディオファイルディスク再生時

- 1 [Q/⏪]を押す
- 2 ボリュームノブを回してフォルダを選んでボリュームノブを押す
  - ・ [▲]/[▼] を使っても選ぶことができます。
  - ・ ボリュームノブを速く回すと、検索スピードが上がります。
  - ・ [Q/⏪] を押すと一つ上の階層に戻ります。
  - ・ [5] を押すとルートフォルダに戻ります。
- 3 再生したいファイルを表示するまで手順2を繰り返し操作する
- 4 ボリュームノブを押す  
ファイルの再生がはじまります。

# 外部接続機器を聞く

## ● 準備

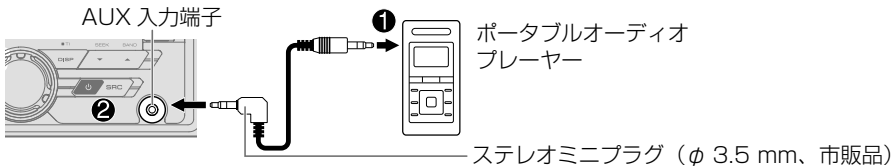
- ・ “SYSTEM” 設定の “SOURCE SELECT” の “BUILT-IN AUX” を “ON” にします。(→ P.18)

## ご注意

- ・ 接続ケーブルは車内に放置しないでください。
- ・ 接続機器および接続ケーブルは、運転を妨げないように引き回し、固定してご使用ください。

## 再生する

- 1 ポータブルオーディオプレーヤー(市販品)を接続する



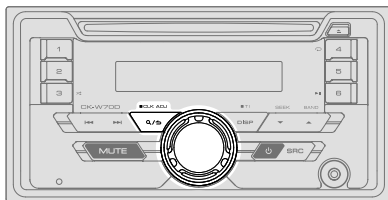
- 2 [SRC]を繰り返し押し続けて**AUX**を選ぶ
- 3 ポータブルオーディオプレーヤーの電源をオンにして、再生を始める

## 外部機器の名前を設定する

本機に接続されている外部機器の名称を変更することができます。

- 1 接続されているポータブルオーディオプレーヤーを再生する
  - 2 ボリュームノブを押し続けて“FUNCTION”モードに入る
  - 3 ボリュームノブを回して“SYSTEM”を選び、ボリュームノブを押す
  - 4 ボリュームノブを回して“AUX NAME SET”を選び、ボリュームノブを押す
  - 5 ボリュームノブを回して設定したい名前を以下の6つから選び、ボリュームノブを押す  
AUX (初期設定) / DVD / PORTABLE / GAME / VIDEO / TV
- ・ [Q/△] を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。

# 音質を設定する



音源が **STANDBY** 以外に選択されているときに設定できます。

- 1 ボリュームノブを押して“FUNCTION”モードに入る
- 2 ボリュームノブを回して“AUDIO CONTROL”を選び、ボリュームノブを押す
- 3 手順2を繰り返して項目を選び、選んだ項目の表中の指示に従って操作する

・[**Q/△**]を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。

初期設定： **XX**

AUDIO CONTROL	
BASS LEVEL	-8~+8(+6)
MID LEVEL	-8~+8(+5)
TRE LEVEL	-8~+8(0)

- 設定を変更する前に設定したい音源を選びそれぞれの項目を設定します。設定した値は“dB EQ”（下記の設定項目）の“USER”に記憶されます。
- 下記の“EQ PRO”（下記の設定項目）でさらに詳細な設定ができます。
- この値は“EQ PRO”（下記の設定項目）のBASS LEVEL/MID LEVEL/TRE LEVELと連動しています。

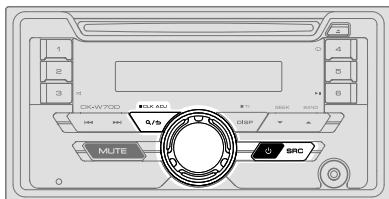
EQ PRO		
BASS ADJUST	BASS CTR FRQ	60HZ、80HZ、100HZ、 <u>200HZ</u> ：中心周波数を選びます。
	BASS LEVEL	-8~+8(+6)：低域を調節します。
	BASS Q FACTOR	<u>1.00</u> / 1.25 / 1.50 / 2.00：Qファクター（先鋭度）を調節します。
	BASS EXTEND	<u>OFF</u> / ON：低音を響かせるバスエクステンド機能を設定します。
MID ADJUST	MID CTR FRQ	0.5KHZ / 1.0KHZ / 1.5KHZ / <u>2.5KHZ</u> ：中心周波数を選びます。
	MID LEVEL	-8~+8(+5)：中域を調節します。
	MID Q FACTOR	0.75 / 1.00 / <u>1.25</u> ：Qファクター（先鋭度）を調節します。
TRE ADJUST	TRE CTR FRQ	10.0KHZ / <u>12.5KHZ</u> / 15.0KHZ / 17.5KHZ：中心周波数を選びます。
	TRE LEVEL	-8~+8(0)：高域を調節します。


dB EQ	DRIVE EQ/DANCE/POWERFUL/ROCK/VOCAL/EASY/JAZZ/NATURAL/USER：音楽に合わせてあらかじめ設定された音質を選びます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>“DANCE”、“POWERFUL”、“ROCK”、“VOCAL”、“EASY”または“JAZZ”を選択すると、[◀◀]/[▶▶]を押してさらにHIGH/LOWを設定することができます。</li> <li>“USER”：BASS LEVEL/MID LEVEL/TRE LEVELとEQ PROで調節した値を呼び出します。</li> <li>“DRIVE EQ”はロードノイズの影響を軽減する音質設定です。</li> </ul>
BASS BOOST	<u>OFF</u> / LEVEL1 / LEVEL2 / LEVEL3：低音を3段階で増強します。





<b>LOUDNESS</b>	<b>OFF/ LEVEL1/ LEVEL2</b> ：小さな音量で音楽を聞くときに不足しがちな低域と高域の音量を2段階で補正します。
<b>FADER</b>	<b>R15～F15 (0)</b> ：前後の音量バランスを調節します。
<b>BALANCE</b>	<b>L15～R15 (0)</b> ：左右の音量バランスを調節します。
<b>VOLUME OFFSET</b>	AUXでは <b>-8～+8 (0)</b> 、それ以外の音源では <b>-8～0</b> の範囲で音量を調節します。音源ごとの音量差を調節します(調節する前に、調節したい音源を選びます)。
<b>SOUND RECNSTR</b> (Sound reconstruction)	<b>OFF/ON</b> ：圧縮オーディオで失われた高音域成分と音の立ち上がり時の成分を補完して、リアリティーのあるサウンドを再現します。

# 設定を変更する



- 1 [  SRC ] を繰り返し押しして STANDBY を選ぶ
- 2 ボリュームノブを押して "FUNCTION" モードに入る
- 3 ボリュームノブを回して設定したい項目を選び、ボリュームノブを押す
- 4 手順3を繰り返し項目を選び、設定する

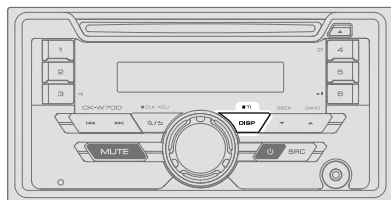
・ [  /  ] を押すと、ひとつ前の設定項目に戻ります。

初期設定： **XX**

DISPLAY	
BRIGHTNESS	<b>0 ~ 31</b> ：ディスプレイとボタンのイルミネーションの明るさを設定します。車両のライトスイッチをオンにしているときとオフにしているときにそれぞれ設定できます。(初期設定：車両のライトスイッチがオンのときは <b>15</b> 、オフのときは <b>31</b> )
TEXT SCROLL	<b>AUTO</b> ：ディスプレイに一度で表示しきれない文字情報を、繰り返しスクロールして表示します。 <b>ONCE</b> ：ディスプレイに一度で表示しきれない文字情報を、一度だけスクロールして表示します。 <b>OFF</b> ：この機能を使用しません。
TUNER SETTING	
PRESET TYPE	<b>NORMAL</b> ：バンドごとに、6つの放送局を登録できます。 <b>MIX</b> ：バンドに関係なく、6つの放送局を登録できます。
SYSTEM	
KEY BEEP	<b>OFF / ON</b> ：操作時のビープ音をオン / オフにします。
SOURCE SELECT	
BUILT-IN AUX	<b>OFF / ON</b> ：“ON”に設定しているとAUX（外部機器）を音源として選べるようになります。(→ P.15)
CD READ	<b>READING MODE 1</b> ：音楽CDとオーディオファイルディスクの両方を再生することができます。 <b>READING MODE 2</b> ：音楽CDのみを再生します。オーディオファイルディスクが挿入されても再生しません。

<b>F/W UPDATE</b>	
<b>UPDATE SYSTEM</b>	
<b>F/W UP XXX</b>	この機能は使用しません。
<b>CLOCK</b>	
<b>CLOCK ADJUST</b>	時刻を設定します。設定については 10 ページをご覧ください。
<b>CLOCK DISPLAY</b>	<b>OFF/ON</b> : “ON” に設定していると本機の電源がオフのときでも、時計を表示します。

## ディスプレイの表示を変更する



[DISP] を押すと、表示される情報が変わります。

- ・情報が無い場合、または記録されていない場合は “NO TEXT” または “NO INFO”、その他の情報（再生時間など）が表示されます。

音源	ディスプレイ表示の内容
STANDBY	音源名 / 時刻
TUNER	BAND 名 / 周波数 / 時刻
CD	<b>音楽 CD の場合</b> 音源名 / トラック名 / アーティスト名 → トラック名 / ディスク名 → トラック名 / 時刻 → 再生時間 / 時刻 → (最初に戻る)
	<b>オーディオファイルディスク</b> 曲名 / アーティスト名 → 曲名 / アルバム名 → 曲名 / 時刻 → ファイル名 / フォルダ名 → ファイル名 / 時刻 → 再生時間 / 時刻 → (最初に戻る)
AUX	音源名 / 時刻

# その他の情報

---

## 再生できるファイル

- 再生可能なオーディオファイル：MP3 (.mp3)、WMA (.wma)
- 再生可能なディスク：CD-R/CD-RW/CD-ROM
- 再生可能なディスクのフォーマット：ISO 9660 Level 1/2、Joliet

オーディオファイルが上記に対応していても、メディアや機器のタイプや状況により再生できないことがあります。

## ファイルおよびフォルダの階層構造

- 使用可能な最大数：
  - 最大ディレクトリ階層： 8
  - 最大フォルダ数 500
  - 最大ファイル数（1フォルダにおける）500
  - 最大ファイルおよびフォルダ数 500
- ファイルの階層やフォルダ構造など記録状態によって、再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。

## 表示できる文字数（拡張子を含む）

- ファイル・フォルダ名 ISO 9660 Level 1/2：最大 32 文字  
Joliet：最大 16 文字
- MP3 ID3 タグ：
  - Ver.1.0/ 1.1： 30 文字
  - Ver.2.2/ 2.3/ 2.4：64 文字
- WMA コンテンツ プロパティ：64 文字

# 故障かな？と思ったら

症状	対処方法	
一般	音が出ない	音量を調節してください。音量を調節しても音が出ない場合はお買い上げの販売店にご相談ください。
	"MISWIRING CHECK WIRING THEN PWR ON" と表示される	お買い上げの販売店にご相談ください。
	"PROTECTING SEND SERVICE" と表示される	お買い上げの販売店にご相談ください。
	本機が動作しない	本機をリセットしてください。(→ P.5) リセットしても動作しない場合はお買い上げの販売店にご相談ください。
ラジオ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラジオの感度が悪い</li> <li>・ラジオに雑音が入る</li> </ul>	お買い上げの販売店にご相談ください。
	ディスクが取り出せない	ディスクが完全に排出されるまで【▲】を押し続けてください(ディスクが排出されるときに、ディスクを落とさないように気をつけてください)。それでも取り出せないときは、本機をリセットして、ディスクが完全に排出されるまでイジェクトボタンを押し続けてください。(→ P.8) それでも改善されないときはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
CD	雑音が入る	他の曲を選ぶか、ディスクを取り替えてください。ディスクを取り替えても雑音が入る場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	思う順に曲が再生できない	曲順やフォルダは、ファイル名、フォルダ名の付け方によって決まります。
	"READING" が点滅し続ける	収録されているデータのフォルダの階層が深い、またはフォルダ数が多過ぎます。
	経過時間が正確でない	曲の録音のしかたによります。
	ディスプレイの表示が正確でない(アルバム名など)	本機は英大文字、数字と一部の記号しか表示できません。
	"NA FILE"	再生できるファイルがあることを確認してください。(→ P.20)
	"NO DISC"	ディスクが入っていません。ディスクを挿入してください。
	"TOC ERROR"	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ディスクのクリーニングをして、正しい向きで挿入し直してください。</li> <li>・再生可能なディスクを挿入してください。</li> </ul>
	"PLEASE EJECT"	ディスクを取り出して、本機をリセットしてください。(→ P.5) もう一度ディスクを挿入してください。それでもエラーメッセージが表示されるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
	"COPY PRO"	ファイルがコピープロテクトされています。

# 仕様

## ● チューナー部

FM 受信周波数範囲	76.0 MHz ~ 99.0 MHz (0.1 MHz)
AM 受信周波数範囲	522 kHz ~ 1629 kHz (9 kHz)

## ● CD プレーヤー部

MP3 デコード	MPEG-1/2 Audio Layer-3 準拠
WMA デコード	Windows Media Audio 準拠

## ● AUX 入力

入力最大電圧	1000 mV
--------	---------

## ● オーディオ部

最大出力	50 W × 4
定格出力	30 W × 4 (4 Ω、1 kHz、10 % THD 以下)
スピーカーインピーダンス	4 Ω ~ 8 Ω

## ● 時計表示部

時計精度	月差 ± 2 分
------	----------

## ● 電源 / 寸法 / 質量

電源電圧	14.4 V (10.5 V ~ 16 V)
最大消費電流	10 A
使用温度範囲	-10 °C ~ +60 °C
本体	外形寸法 (W × H × D) 206 mm × 104 mm × 180 mm
	埋込寸法 (W × H × D) 178 mm × 100 mm × 158 mm
	質量 (重さ) 1,350 g

仕様およびデザインは、予告なく変わる場合があります。

## 特許権 / 著作権 / 商標など

- Windows Media is a registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
- This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.

# 保証とアフターサービス

## ■ 保証について

**保証書**                    この製品には、保証書を別途添付しております。  
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

## ■ 修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」(→ P.21) を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

**修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。**

保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後は…

お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

---

発売元

**ダイハツ工業株式会社**